

- 1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
- 2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
- 3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
- 4. 明日の彦根市を担う人を育(はくく)むまちづくり
- 5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

皆さんとともに 感動のフィナーレへ



井伊直弼と開国150年祭

Ii Naosuke - Gateway to the future



▲「ゆるキャラまつりin彦根」の様子

平成20年6月に開幕した、「井伊直弼と開国150年祭」は、平成22年3月24日まで開催します。1年目にも増して2年目も多数の皆さんにご参加いただきました。今年はいよいよフィナーレを迎える年になります。そこで、市民の皆さんが、彦根に元気を与えた市民創造事業を通して、広がる市民活動をご紹介します。

問い合わせ先 企画課(井伊直弼と開国150年祭実行委員会事務局) ☎30-6141番、FAX 22-1398番



きたむら しょうぞう
北村 昌造

井伊直弼と開国150年祭
実行委員会 会長
(彦根商工会議所会頭)

新年、あけましておめでと
うございます。

平成22年の幕が開け、「井伊直弼と開国150年祭」も、いよいよクライマックス、最終章を迎えます。

昨年、一昨年と、開国記念館での特別展や彦根城博物館での企画展をはじめ「井伊直弼」や「開国」をテーマに数多くのイベントや講演会、そして、彦根市のキャラクター「ひこねちゃん」をはじめ、130を超えるゆるキャラ®に参加いただいた「ゆるキャラまつりin彦根」などにぎやかなイベントも開催し、日本全国から多くの人々にお越しいただくことができました。

また、横浜などの開港都市と連携した事業や、幕末の時代、のちに日本を動かすこと

になる志士たちに大きな影響を与えた吉田松陰や橋本左内ゆかりの萩市や福井市との交流も行うことができました。

市民の皆様には、各種事業でご協力いただくとともに、豊かな発想の市民創造事業も数多く実施いただき、全国に彦根の魅力を発信していただきましたことを、心より感謝申し上げます。

本年は、いよいよ、集大成の年であり、3月に開催する「城下町大道芸まつり」や「全国古式砲術・鉄砲サミットin彦根」、「フィナーレイベント」など、「井伊直弼と開国150年祭」のフィナーレを飾るにふさわしいイベントを実施するとともに、最後まで、日本を開国へと導いた「井伊直弼」の功績や文化人としての側面、人間としての魅力、さらに今日の日本の発展は開国によって始まったということをしつかりと発信していきたいと考えております。

本年も「井伊直弼と開国150年祭」の成功、そして、彦根のまちを盛り上げるために、ご支援・ご協力をお願いいたします。

「井伊直弼と開国150年祭」 事業予定

※内容などが変更されることもあります。また、下に紹介した事業以外にも開催しています。詳細については、「広報ひこね」や「井伊直弼と開国150年祭」のホームページなどをご覧ください。

昔なつかしい紙芝居と彦根昔物語【市民創造事業】

内容: ちんどん屋活動に加え、紙芝居を通じて、子どもたちに彦根の昔話・歴史、井伊直弼の話を楽しく、分かりやすく伝えていきます。

開催日: ~3月 場所: 市内

城下町大道芸まつり【主催事業】

内容: 商店街を会場に、全国から集まった大道芸人たちが、自慢の大道芸やパフォーマンスを披露します。

開催日: 3月7日(日) 場所: 銀座・中央両商店街

改めて「湖東焼の美と盛衰を学ぶ」特別講演会【市民創造事業】

内容: 湖東焼の独自の技術と文化を再認識するため、京焼作家、学芸員などを招いたパネルディスカッションを開催します。

開催日: 3月7日(日) 場所: 彦根城博物館 能舞台見所

フィナーレイベント【主催事業】

内容: 井伊直弼ゆかりの狂言とオペラのコラボレーションイベントを開催し、「井伊直弼と開国150年祭」のフィナーレを飾ります。

開催日: 3月22日(月) 場所: ひこね市文化プラザ